



自分流泰的生活

タイレスリング女子ナショナルチームコーチ
由井 俊郎さん
Toshiro Yui

タイレスリング協会に依頼され、2007年4月から12月までの期限で、タイナショナルチーム女子のコーチとして来タイ。そんな彼の、タイのレスリング界に対する熱い胸の内にせまる。

写真：女子48キロ級スニーサ選手(21)と一緒に。

目指すは北京オリンピック！

何故、タイにコーチとして来る事になったのですか？

現在、日本女子レスリングは世界トップの実力があり、国内での注目度はもちろんのこと、世界からも関心が寄せられています。それで、タイレスリング協会から日本のレスリング協会へ日本人コーチの申請があり、光栄にも、僕がそのお話をいたいたいたんです。

日本とタイのレスリング事情はどう違いますか？

正直、世界上位を争う日本と、レスリングの認知度もまだまだ低いタイでは比べ物になりません。タイは国技のムエタイがあるので、他の格闘技が発展しにくい環境なのかもしれませんね。女子のレスリングの歴史も浅く、活動を休止していたナショナルチームが再結成したのもほんの3年前なんです。

最終的な目標は何ですか？

そのナショナルチームを北京オリンピックに連れて行く事です！それには、予選となる9月の世界選手権で8位入りをしなければなりません。最低でも、今一番の期待の若手スニーサ一人だけでも連れて行きたいです！彼女は、5月に行われたアジア選手権で、女子48kg級で2位に入賞しました。アジアで2位ですよ！僕も来タイして1ヶ月程だったし、あまりの好成績に驚きました。でもその瞬間確信したんです。「北京に行く！」って。そこで失敗しても、来年3月のアジア大会、その後の世界予選とチャンスはまだあります。僕の契約は今年12月までなんです。だから、何としても気合いで9月の世界選手権、8位入りを目指します！

順調な走り出しだすね！でも、8ヶ月という短い期間でのトレーニングって色々大変そうですね？

そう。短いんです！オリンピック強化なんていったら普通、1~4年単位で練習内容を組んでいきますからね。時間がないので、抑えるべきポイントのみを週単位でこなしています。まずは、ベースがないのでそれを作

こと。「今週はこれ！今週はこれ！」と忙しい毎日ですが、時間は少しも無駄にできません。

そんな厳しい条件の中で、コーチを引き受けたのには訳があるんですか？

厳しい条件だからこそ、自分に任せていた事をすごく光栄に思えたんです。それに、今までレスリングをずっと続けてくれたのも、周りで応援してくれる人達がいたから。やらせてもらえた環境があったから、やって来れたんです。なので、今度は僕がコーチとして社会貢献する番だと思っています。実は、3月まで現役だったレスリングも引退して來たんですね。高校からずっとやってきて、今年も全日本の予選会にエントリーしていましたが、コーチのお話をいたいたいて、「自分はもう十分やったかな」と思いました。これからはコーチに専念します！

思い切りましたね。タイでの生活に不安はありませんでした？

そういう面では問題ありませんでした。以前2年間、青年海外協力隊としてインドネシアでレスリングのコーチを務めた経験があつたもので。時間はかかりましたが、インドネシア語も話せるようになり、選手との交流もしっかりとれていました。なので、アジアで教える事に抵抗は感じませんでしたね。アジアって、ゆったりのんびりしてて雰囲気があるじゃないですか。危機感に迫られない国民性というか。でも、やっぱり最終的には個人の問題なんですね。怠ける者は怠けるし、やる気のある者はやり抜くんですよ。それをインドネシアで学びました。だから、僕はタイだから無理！とかは、全く思わないです。

北京に向けて頑張って下さいね！

はい！結果は必ず残します！また、せっかく日本人がコーチになったので、日本に向けてのスポンサリング活動にも力を入れて行く予定です。

タイのレスリング界の発展に貢献できるよう、頑張ります。



↑インドネシアでのつながりや経験を生かしてインドネシアのおいもの販売もしています！おいもオンラインショップ「ちれんぶ屋」
<http://www.cilembu.com/>